

令和5年度 3大学協働基礎ゼミ シラバス

授業科目名	3 大学協働基礎ゼミ		
英文授業科目名	Inter-University Freshman Seminar		
開講年度	令和5年度	開講年次	農工大・電通大:学部1~2年生 東外大:学部1~4年生
開講学期	前学期(夏学期)	開講コース・課程	—
授業の方法	講義	単位数	1
科目区分	—		
開講学科・専攻	—		
担当教員名	日下 渉		
居室	東京外国語大学 研究講義棟637号室		
公開E-Mail	kusaka@tufs.ac.jp		
授業関連 Web ページ	https://kakehashi-ph.jp/		

講義情報

主題および 達成目標	<p>テーマ名「多文化共生の課題と実践をフィールドから学ぶ」</p> <p>テーマ概要：Kakehashi という在日フィリピン人および、フィリピンにルーツを持つ子どもたちの支援団体 (https://kakehashi-ph.jp/) の協力を得て、多文化共生の課題と実践について学ぶ。また、他大学の学生と協働してテーマに取り組むことで、課題設定や課題解決に必要な力を身につける。</p>
前もって履修 しておくべき科目	—
前もって履修しておく ことが望ましい科目	—
教科書等	合同オリエンテーションの際に指定する
授業内容と その進め方	<p>第1回: 合同オリエンテーション(8月2日)</p> <p>第2回: 9月20日(10:10~11:40) フィールド調査</p> <p>第3回: 9月20日(12:40~14:10) フィールド調査</p> <p>第4回: 9月21日(12:40~14:10) 多文化共生に関する講義</p> <p>第5回: 9月21日(14:20~15:50) 多文化共生に関する議論</p> <p>第6回: 9月22日(12:40~14:10) 多文化共生に関する議論</p> <p>第7回: 9月22日(14:20~15:50) 合同発表の準備</p> <p>第8回: 合同発表会(9月27日)</p> <p>ゼミの開催場所は、合同オリエンテーションで周知する。</p>
授業時間外の学習 (予習・復習等)	特になし。
成績評価方法 および評価基準	各回の授業への参加姿勢、合同発表会での発表内容を総合的に評価する。ゼミ形式の授業であるため、積極的に参加することが望ましい。

(最低達成基準を含む)	
オフィスアワー: 授業相談	メールを頂ければ、その都度に日程を設定して対応します。
学生へのメッセージ	教室を飛び出して、街を歩き、人と出会って話しながら、日本社会の未来について考えていきましょう。
その他	
キーワード	多文化共生、在日外国人、外国にルーツのある子どもたち、フィールドワーク

令和5年度 3大学協働基礎ゼミ シラバス

授業科目名	3 大学協働基礎ゼミ		
英文授業科目名	Inter-University Freshman Seminar		
開講年度	令和5年度	開講年次	農工大・電通大:学部1~2年生 東外大:学部1~4年生
開講学期	前学期(夏学期)	開講コース・課程	—
授業の方法	講義	単位数	1
科目区分	—		
開講学科・専攻	—		
担当教員名	田中 治夫		
居室	東京農工大学 府中キャンパス 2号館 222		
公開E-Mail	haruo@cc.tuat.ac.jp		
授業関連 Web ページ	—		

講義情報

主題および達成目標	<p>テーマ名「府中街歩きでSDGsを考える—教育旅行コンテンツの創出」</p> <p>テーマ概要</p> <p>近年の修学旅行は、有名観光地訪問ではなく、学びができる体験学習型プログラムに移行しつつある。このゼミでは、地域や社会の課題を見直しながら地域の持つ潜在的な魅力を発掘する「SDGs 教育旅行コンテンツ」の創出を行う目的とする。府中市及び府中市観光協会と協力し、各自及び協同であらたな教育旅行コンテンツの共創を行う。</p> <p>他大学の学生と協働してテーマに取り組むことで、課題設定や課題解決に必要な力を身につける。</p>
前もって履修しておくべき科目	—
前もって履修しておくことが望ましい科目	—
教科書等	<p>資料はネット上にあげておく (URL やパスワードは第2回時に連絡する)</p> <p>参考書 蟹江憲史 2020. SDGs (持続可能な開発目標), 中公新書</p> <p>南博・稲葉雅紀 2020. SDGs -危機の時代の羅針盤, 岩波新書</p>
授業内容とその進め方	<p>第1回: 合同オリエンテーション 【8月2日(水)17:30~18:30】</p> <p>第2回: 講義: 府中市のSDGs 【8月4日(金)13時~15時】</p> <p>第3・4回: 野外実習: 教育旅行コンテンツ体験 (府中の街を歩いて、さまざまなSDGsの現場を見学しSDGsについて考える) 【8月7日(月)午後】 【雨天の場合は8月8日(火)午後】</p> <p>第5・6回: 個別プレゼンテーション: 各自が作成した「府中市におけるSDGs教育旅行コンテンツ」を発表して討議する 【8月23日(水)午後】</p> <p>第7回: 共同作業: 合同発表会に向けて、全員で一つの「府中市におけるSDGs教育旅行コンテンツ」を共創する。 【8月28日(月)午後】</p>

	第8回：合同発表会【9月27日(水)13:00～16:00】 ゼミの開催場所は、合同オリエンテーションで周知する。
授業時間外の学習 (予習・復習等)	各自と共同で「府中市におけるSDGs教育旅行コンテンツ」を創ります。
成績評価方法 および評価基準 (最低達成基準を含む)	各回の授業への参加姿勢、合同発表会での発表内容を総合的に評価する。 ゼミ形式の授業であるため、積極的に参加することが望ましい。
オフィスアワー: 授業相談	メールで対応する。
学生へのメッセージ	「府中市におけるSDGs教育旅行コンテンツ」を一緒に考えて創り上げていきましょう。地域のもつ潜在的な魅力を発掘してみてください。
その他	野外でQRコードを読み取り、必要なファイルをダウンロードすることができるスマートフォンを用意すること。
キーワード	教育旅行コンテンツ、SDGs

令和5年度 3大学協働基礎ゼミ シラバス

授業科目名	3 大学協働基礎ゼミ		
英文授業科目名	Inter-University Freshman Seminar		
開講年度	令和5年度	開講年次	農工大・電通大:学部1~2年生 東外大:学部1~4年生
開講学期	前学期(夏学期)	開講コース・課程	—
授業の方法	講義(オンライン)	単位数	1
科目区分	—		
開講学科・専攻	—		
担当教員名	畠山 雄二		
居室	12号館3階328号室		
公開E-Mail	hatayu@cc.tuat.ac.jp		
授業関連Webページ	—		

講義情報

主題および 達成目標	<p>最新の時事英語から国際情勢の読み解き方と生きた英語の読み方を学ぶ:正確かつ精確に英語を読むコツを伝授する!</p> <p>受験英語の英文法の知識だけでは時事英語を正確かつ精確に読むことはできません。一歩進んだ、いや二歩進んだ英文法の知識をゲットしてホンモノの精読を体験してみよう!</p> <p>他大学の学生と協働してテーマに取り組むことで、課題設定や課題解決に必要な力を身につける。</p>
前もって履修 しておくべき科目	—
前もって履修しておくこ とが望ましい科目	—
教科書等	教科書は使いません。プリントを配布します。
授業内容と その進め方	<p>第1回:合同オリエンテーション</p> <p>第2回:最新のBBC Newsを精読する その1(9/12【火】)10時~12時</p> <p>第3回:最新のBBC Newsを精読する その2(9/13【水】)10時~12時</p> <p>第4回:最新のBBC Newsを精読する その3(9/14【水】)10時~12時</p> <p>第5回:最新のBBC Newsを精読する その4(9/15【金】)10時~12時</p> <p>第6回:合同発表会</p> <p>ゼミの開催場所は、合同オリエンテーションで周知する。</p>
授業時間外の学習 (予習・復習等)	基礎的な英文法の知識を整理しておいてください。

成績評価方法 および評価基準 (最低達成基準を含む)	各回の授業への参加姿勢、合同発表会での発表内容を総合的に評価する。 ゼミ形式の授業であるため、積極的に参加することが望ましい。
オフィスアワー： 授業相談	メールで気軽に質問してください。
学生へのメッセージ	まじめに英語を勉強したい学生さんには有意義な授業となるでしょう。
その他	
キーワード	

令和5年度 3大学協働基礎ゼミ シラバス

授業科目名	3 大学協働基礎ゼミ		
英文授業科目名	Inter-University Freshman Seminar		
開講年度	令和5年度	開講年次	農工大・電通大:学部1~2年生 東外大:学部1~4年生
開講学期	前学期(夏学期)	開講コース・課程	—
授業の方法	講義	単位数	1
科目区分	—		
開講学科・専攻	—		
担当教員名	武者 満 (電気通信大学 情報理工学域 III類(理工系))		
居室	電気通信大学 西7号館 717号室		
公開E-Mail	musha@ils.uec.ac.jp		
授業関連 Web ページ	—		

講義情報

主題および 達成目標	<p>「きれいな光を創り出す」 テーマ概要</p> <p>電灯や太陽光とは異なるレーザーは様々な分野で応用されていますが、実際にはどのような特徴をもっているのでしょうか？その本質である「きれいな光」について学ぶとともに、実際にレーザーを作ってその「きれいさ」について実体験します。また他大学の学生と協働してテーマに取り組むことで、課題設定や課題解決に必要な力を身につけます。</p> <p>Lasers is called as 'supreme light' and has become widespread in many fields around us. What is 'supreme light'? In the present lecture, we study the principle and the applications of laser light, and try to oscillate some kinds of laser sources.</p>
前もって履修 しておくべき科目	—
前もって履修しておく ことが望ましい科目	—
教科書等	
授業内容と その進め方	<p>第1回: 合同オリエンテーション(8/2【水】を予定)</p> <p>第2回: レーザーとは何か</p> <p>第3回: レーザーはどのように使われるのか</p> <p>第4回: 気体レーザーをつくる</p> <p>第5回: 固体レーザーをつくる</p> <p>第6回: 光の「きれいさ」を調べる</p> <p>第7回: 光の応用と未来について考える</p> <p>第8回: 合同発表会(9/27【水】を予定)</p>

	<p>※ゼミの開催場所は、合同オリエンテーションで周知する。</p> <p>※第2回目以降の日程は合同オリエンテーションの際に参加学生と調整して決定</p>
<p>授業時間外の学習 (予習・復習等)</p>	
<p>成績評価方法 および評価基準 (最低達成基準を含む)</p>	<p>各回の授業への参加姿勢、合同発表会での発表内容を総合的に評価する。 ゼミ形式の授業であるため、積極的に参加することが望ましい。</p>
<p>オフィスアワー: 授業相談</p>	
<p>学生へのメッセージ</p>	
<p>その他</p>	
<p>キーワード</p>	

令和5年度 3 大学協働基礎ゼミ シラバス登録フォーマット

授業科目名	3 大学協働基礎ゼミ		
英文授業科目名	Inter-University Freshman Seminar		
開講年度	令和5年度	開講年次	農工大・電通大:学部1~2年生 東外大:学部1~4年生
開講学期	前学期(夏学期)	開講コース・課程	—
授業の方法	講義(遠隔)	単位数	1
科目区分	—		
開講学科・専攻	—		
担当教員名	西野 哲朗 (電気通信大学 情報理工学域 I 類(情報系)) Tetsuro Nishino (The University of Electro-Communications, School of Information Science and Technology (Information Systems))		
居室	電気通信大学東3号館826号室 Room 826, East Bldg. 3		
公開 E-Mail	nishino@uec.ac.jp		
授業関連 Web ページ	—		

講義情報

主題および 達成目標	<p>テーマ名:「量子コンピュータの新たな応用分野を開拓してみよう」 “Let’s explore new application fields of quantum computers”</p> <p>テーマ概要: 問題解決における自律的かつ、実践的な能力を育成することが、このゼミの目的である。具体的には、デザイン思考の手法などを用いて、D-Wave 社が公開している量子コンピュータの新たな応用分野に関するアイデア出しを行う。前提知識は特に必要としていない。D-Wave システムについても、わかりやすく解説する。他大学の学生と協働してテーマに取り組むことで、課題設定や課題解決に必要な能力を身につけていただきたい。</p> <p>The purpose of this seminar is to develop autonomous and practical skills in problem solving. Specifically, we will use design thinking techniques to come up with ideas for new applications of the quantum computer released by D-Wave. No special prerequisite knowledge is required. The D-Wave system will be explained in an easy-to-understand manner. By working on the theme in collaboration with students from other universities, we hope that the students will acquire the skills necessary for setting and solving problems.</p>
前もって履修 しておくべき科目	—
前もって履修しておく ことが望ましい科目	—
教科書等	

<p>授業内容とその進め方</p>	<p>第1回: 合同オリエンテーション(8/ 2【水】を予定) 第2回: 量子コンピュータの基礎(9/ 7(木) 13:00~14:30) 第3回: デザイン思考の基礎(9/ 7(木) 14:40~16:10) 第4回: 量子コンピュータの新たな応用分野の検討 (1)(9/ 8(金) 13:00~14:30) 第5回: 量子コンピュータの新たな応用分野の検討 (2)(9/ 8(金) 14:40~16:10) 第6回: 量子コンピュータを用いた実験および討論 (1)(9/11(月) 13:00~14:30) 第7回: 量子コンピュータを用いた実験および討論 (2)(9/11(月) 14:40~16:10) 第8回: 合同発表会(9/27【水】を予定) このゼミは遠隔で実施します。</p> <p>Part 1: Joint orientation (August 2) Part 2: Basics of Quantum Computers Part 3: Fundamentals of Design Thinking Part 4: Investigation of new application fields of quantum computers (1) Part 5: Investigation of new application fields of quantum computers (2) Part 6: Experiments using quantum computers and discussion (1) Part 7: Experiments using quantum computers and discussion (2) Part 8: Joint presentation (September 27) This seminar will be conducted remotely.</p>
<p>授業時間外の学習 (予習・復習等)</p>	<p>特にありません。 None in particular.</p>
<p>成績評価方法 および評価基準 (最低達成基準を含む)</p>	<p>各回の授業への参加姿勢、合同発表会での発表内容を総合的に評価する。 ゼミ形式の授業であるため、積極的に参加することが望ましい。 Attitude toward participation in each class and the content of the presentations at the joint presentation will be evaluated. As this is a seminar-style class, it is desirable to participate actively.</p>
<p>オフィスアワー: 授業相談</p>	<p>授業履修前に相談があれば、メールして下さい。 If you have any questions before taking the class, please email me.</p>
<p>学生へのメッセージ</p>	<p>量子コンピュータの基礎や、D-Wave 社の量子コンピュータの使用法について、わかりやすく解説します。前提知識なしで、コンピュータサイエンスの基礎から企業現場における応用の現状までを概観します。これからの社会では、量子コンピュータの関連知識は、専門分野を問わず、重要な素養になりますので、この機会に、その基礎を修得して下さい。 This course provides an easy-to-understand explanation of the basics of quantum computing and the use of D-Wave's quantum computers. This course provides an overview of the basics of computer science and its current applications in the corporate world without any prerequisite knowledge. In the future society, knowledge related to quantum computers will be an important prerequisite regardless of your field of expertise, so please take this opportunity to acquire the basics.</p>
<p>その他</p>	
<p>キーワード</p>	<p>量子コンピュータ・コンピュータサイエンス・デザイン思考 Quantum Computers, Computer Science, and Design Thinking</p>